

平成 2 9 年 1 2 月 2 ・ 3 日

今年度、3回目の被災地視察研修セミナーを12月2日3日に行いました。気仙沼・南三陸・石巻の被災地を巡り、震災当時のお話や震災からの復興の取組などを聞くことができました。今回は、宮城県教育委員会の防災担当の先生と現地の小学校と中学校の防災主任の先生、本学の職員の方にも参加いただき、この研修へのアドバイスをいただきました。

1日目は気仙沼大島です

約1年後に開通する橋を見ながら客船で気仙沼大島に渡り、牡蠣養殖を営んでいるヤマヨ水産を訪ね、震災への心構えやカキの養殖のご苦労、やりがいなど貴重なお話を聞くことができました。お話を聞いた後、船に乗せていただき、大島のきれいな海とカキの養殖いかだを見させていただきました。

その後、3つのグループに分かれて、大島の家々を訪ね、震災当時の様子と現在までの復興について貴重なお話を伺いました。明るく、前向きな島の方々に私たちが元気をいただきました。

夜は、その日に学んだことをみんなで話し合い、参加した先生方のお話を聞きました。



気仙沼湾から見る大島 橋は2019に開通予定です



亀山山頂にて 金華山が綺麗に見えました



震災からカキ養殖復興までを聞きました



綺麗な海でカキがすくすくと育っていました



いかだの上で 海の水は冷たかったですが



「ひまわり」の船長さんから津波を乗り越えた話を聞きました 震災後は、島と街との間の連絡船として活躍しました



夜のミーティングでは、その日感じたことをみんなで話し合いました



2 日目は南三陸町、石巻市大川小学校跡地を訪ねました

下の写真は戸倉小学校の児童が東日本大震災時に避難した場所です。津波はどこまで来たのでしょうか。右側の真ん中に見えるのが現在の海面です。正解は、1月に開催予定の被災地セミナー報告会の中でお伝えいたします。



大川小学校では被害に遭われた方々のご冥福を祈りました。また、将来教員になったとき、子どもたちの命を守る決意を新たにしました。



大川小学校跡地